

実物投影機用テーブルの製作

乙部町立明和小学校

教頭 佐々木 朗

1 はじめに

本年12月に行われた厚沢部町立厚沢部小学校の研究会で、ICTを使った授業の研修に出かけた。その時見たのが、実物投影機用のテーブル。広さも児童用机より一回り大きく、そこに被映写物を置く範囲の枠線をつけるなどして、非常に使い勝手が良さそうだった。そこで、今回DIYの精神を生かし、何万円かしたという実物投影機用のテーブルを自作してみることにした。



2 材料

コンパネ、化粧ベニア(2.5mm)、イレクターパイプ 450mm (Φ28mm) 2本、60ミリ六角ビス・ナット 8組、児童用机(天板を外した物)、木工ボンド、キャスター4個(今回はプラスチック)

材料費およそ 3000 円(児童机を除く)

3 作り方

(1)天板

- ①いらなくなった児童用机の天板を外す。
- ②コンパネ、化粧ベニアを 700mm 四方に切断する。(この広さがポイント)
- ③木工ボンド(ほぼ一本使い切った)を隅々まで丁寧に伸ばし、コンパネと化粧ベニアを接着する。その後重しをかけるなどして、一晩以上乾かす。
- ④しっかり乾かしたら、角をサンダーで取り、円くする。また、電動カンナで回りをきれいに整える。最後にサンダーで表面を丁寧に磨く。



(2)フレーム

- ①イレクターパイプをサンダーを使って半分に切断する。22.5mmになる。切り口を研磨し、けがをしないように。
- ②半分に切ったイレクターパイプを机のフレームに針金でしっかり、仮

止めする。6mmのドリルで、イレクターパイプ、机のフレームを突き抜き穴を開ける。脚1本につき、2本でビス留め。完全に固定したら、仮止めの針金を外す。

- ③できるだけ高さがそろるようにビス留めするが、どうしてもぐらつき



がでてくる。4本目のイレクターパイプを留めたら、ぐらつきがないか必ず確認し、サンダーで微調整する。

- ④パイプをつけてもう一度がたつき、ぐらつきがないか点検する。

(3)固定

- ①最後に天板の中心にフレームをねじ留めする。必ずドリルで下穴を開けてから、天板から取り外したビスで固定する。



4 感想

児童机にそのままキャスターがつけばもっと簡単にできたが、そこが一番苦労したところ。これからどんな活用が考えられるか、実践を通して考えていきたい。